

NPO法人西脇てとて広場 2025年度事業計画

1. 子どもの居場所事業

目的：1軒の借家において、家庭や学校に居場所がない、または学校に行きづらい、勉強がわからないなど生きづらさを抱えた0～18歳の子どもとその家族を応援するために子どもの居場所「てとて広場」を開設する。利用はNPO法人西脇てとて広場の会員または賛助会員の家族とする。子どもの発達・教育相談を希望の場合は、てとて広場の相談につなぐ。

場所：てとて広場（西脇市西脇1036-2）

日時：毎週火曜日・土曜日10時～15時（発達・教育相談は随時日程調整）

<体験活動>

目的：不登校や家庭環境、発達特性により、体験の機会が少ない子どもたちを含む小学生～高校生の子どもたちを対象に行う。

方法：子どもの居場所開設時に併せて行う。地域の専門の方にお世話になり、スポーツや農業、クッキング、自然体験、文化活動の体験を行う。

場所：黒田庄福地の藤原晃さん宅農地、竹内商店さん体育館、みらいえ調理室、昨年に引き続きスタジオモメンさんの綿畑作業に参加する。その他、木谷山キャンプ場私有地での自然体験活動。

日時：毎月第2火曜日クッキング、第2土曜日綿畑作業、第3土曜日スポーツの日、第3火曜日自然体験活動、その他は随時日程調整する。

<トワイライトスペース>

目的：夜間に家で1人で過ごす子ども、家に居づらい子どもなどが心落ち着けて過ごせる場所として、夜間に開設する。

日時：毎週金曜日15時～20時・土曜日の18時～20時

2. 学習サポート事業

目的：家庭での学習環境が整わない、不登校、発達特性により通常の学習ができない等の小中学生に学習の場を提供し、学習のサポートを行う。長期休暇に学習場所を提供する。

場所：てとて広場等

方法：教育大学学生、元学校教員がサポートして、学習を各自が進める。利用は、NPO法人西脇てとて広場の会員、または賛助会員の家族とする。

日時：①毎週水曜日17時半～20時

②（長期休暇）毎週火曜日・木曜日 10時～12時

③火曜日、土曜日は希望に応じて、行う。

3. 生活困窮家庭支援事業

目的：ひとり親世帯や生活困窮の子育て世帯の生活を応援するため。

方法：食料品・日用品の無料配布を定期的に行う。その他、奨学金や給付金等の申請サポートを行う。フードバンクや協力企業からの支援を受ける。

4. 一箱本棚オーナー制度

目的：本を通じて、てとて広場の子どもたちや保護者、関係者をつなぐ役割を果たし、本棚オーナー料を資金に充てる

内容：一箱本棚を設置し、オーナーを募集を継続。1ヶ月1000円で、自由に本棚を使ってP R等をしていただく。年間数回の、オーナーによるワークショップを開催する。

5. 子どもの権利学習会

目的：子どもの権利について、子どもに関わる職種、ボランティア、支援者等の皆さんと共に、学び、理解を深める。

内容：今年度も西脇市P T A連合会との協働開催を予定。

6. 子どもの居場所安心安全ガイドライン策定事業 <新規事業>

目的：子どもが心身共に安心安全に過ごすためにスタッフ・サポーターがガイドラインを共有し、リスクの回避を図る。

方法：策定検討会3回。ワークショップ3回を1年かけて行う。完成したガイドラインは、関係者に配布すると共に、希望する個人・団体等に販売する。

7. 10代の「夢を見つける居場所」事業<試行>

目的：小学6年生以上中高生対象。経済格差、地域格差、教育格差が拡がる中で、この地の過去から未来につながる中に、自分がいることに気づき、未来の自分をイメージする。西脇市にいながら夢を叶えた人、夢を追い続けている人に会い、自分の可能性を知る。

方法：ポッドキャストで音声配信して、学校に行きづらい子どもや引きこもりがちな10代のオンライン上の居場所を作り、市内の方にゲスト出演いただく。放送を聞いて、事業に参加したい10代の子どもを募集し、自分たちの居場所を作る計画を立てるなど。

その他「てとて広場」で行う自主活動

- ・ママカフェ・・・学校に行きづらい子どもの悩みを共有するお話し会
- ・子どもカフェ・・・親や家族について日頃感じていることを話してみる
- ・大人の居場所・・・はりまADDMの会にご協力いただき、開催する
- ・若者広場・・・高校生以上の生きづらさを抱えた若者の居場所
- ・発達相談は市位先生が隨時行われる。